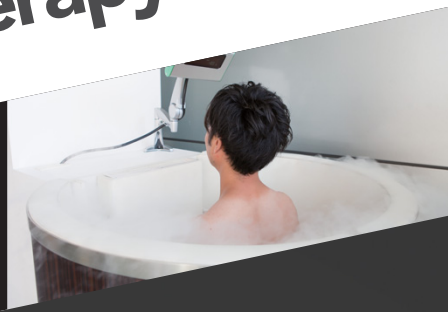
いのちをつなぐ

SARAYA

-180℃ Cryo Shower

whole body cryotherapy



-180℃で目覚める回復力

ハードなスポーツ後のリカバリーに、全身冷却

クライオシャワー

CS-2000

サラヤ株式会社 クライオシャワーチラシ表　56-0449-01-34PDF

■商品特徴

タッチパネル

■4つのモードをタッチパネルで簡単操作
機器使用後のメンテナンスは、
ボタン操作1つで完了

ブース状態表示ディスプレー

■ブース内の温度・時間は
使用者も確認出来る
ディスプレイ

リフト

■アスリート向けに
耐荷重200kgのリフトを採用

■オプション品

液体窒素容器

100L用・210L用などの種類があります。お客様のご使用条件に応じた容器をご提案・お見積もり致します。

フレキシブルホース

液体窒素容器を1本ご購入頂くと1.3mのフレキシブルホースが附属しています。

液体窒素使用量の目安（ホース長1.3m使用時）

冷却準備モード 8.5L ＞ 3分間の運転モード 6.5L

※液体窒素容器の圧力、使用場所の室温、フレキシブルホースの長さの条件によって液体窒素の使用量は、変わります。
※液体窒素容器は、安全のため一定圧力以上になると窒素が抜ける仕組みになっています。100L容器の場合1日あたり2.1Lが自然放出されます。（液体窒素容器の種類による）

■使用方法

1.衣服を脱いで、下着のみになります。（ブラジャーは外します）
2.保護用手袋、保護用靴、保護用サポーターを着用します。
3.ブースに入って、リフトで頭がブースより上になるように高さを調整します。
4.冷気が出始めたら、ブース内で体を左右に回転します。
5.2~3分間で終了です。

■サイズ

H2350mm×W1800mm×D970mm

■仕様

定格電圧	AC200V（50／60Hz）
消費電力（稼働時）	560W
消費電力（待機時）	80W
リモコン	あり
タッチパネル	5.5inch
外部液体窒素容器	100Lまたは200L
対応身長	160cm~
対応体重	~200kg

お客様の設置場所の
雰囲気に合った
デザインを
お伺いした上で
提案いたします。

導入事例

国立スポーツ科学センター設置例

国立スポーツ科学センター（JISS）は、我が国のスポーツの国際競技力向上に向けた、スポーツ科学・医学・情報研究推進の中枢機関として、財団法人日本オリンピック委員会、競技団体、スポーツ研究機関等と連携して調査・研究を推進するとともに、その成果を踏まえて、我が国のトップレベルの競技者及びチームの国際競技力の向上を、スポーツ科学・医学・情報の各側面から組織的・総合的に支援している組織・施設です。

ホームページ　クライオシャワー　検索　pro.saraya.com/cryoshower

受注生産　ご注文から2ヶ月後の納品となります。設置場所を下見の上,輸送費は別途,見積となります。

品　名	内容量 / 規 格	1梱入数	商品コード	JANコード
クライオシャワー CS-2000	ー	1	45295	ー

■ 製品は改良のため、予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
■ 写真及び印刷の仕上がり上、現品と色合いが若干異なることがあります。
■ 掲載製品の詳細については、取扱店または当社にお尋ねください。
■ 記載内容は2015年7月現在のものです。

サラヤ株式会社
〒546-0013 大阪市東住吉区湯里2-2-8
TEL.06-6797-2525　http://www.saraya.com/

製品のお求め、お問合せ先

株式会社フォーム　〒465-0025 愛知県名古屋市名東区上社4-191
TEL: 052-784-9125
E-Mail: mori@m-form.co.jp
担当　森宛